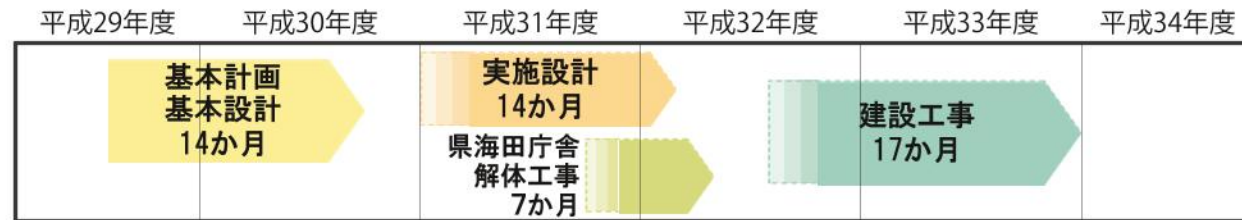


新庁舎建設に向けた事業計画

事業スケジュール（目標）

- 事業スケジュールは、次を目標とし、更なる短縮を検討する



事業費用（イニシャルコスト）

約 35 億 4,600 万円 ～ 約 39 億 7,600 万円【税別】
※建築コストの上昇傾向を踏まえた変動リスクを想定

- 新庁舎整備にあたっては華美な設えとせず、イニシャルコストの縮減に努める

ライフサイクルコストとランニングコスト

- 建物の生涯コスト（ライフサイクルコスト）の縮減に向け、詳細な検討を行う

基本設計に向けて

- 町民の意向を踏まえながら、海田町全体のまちづくりに寄与する施設を目指す

意見募集（パブリック・コメント）に、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

「海田町新庁舎整備基本計画」の素案について、意見募集（パブリック・コメント）を実施しました。意見の提出状況は、次のとおりです。

意見募集の期間

平成 30 年 1 月 26 日（金曜日）から
平成 30 年 2 月 25 日（日曜日）まで

意見提出者数

6 人

意見の件数

合計 17 件

- 新庁舎の基本的な考え方に関する意見…………… 3 件
- 新庁舎の施設整備の方針に関する意見…………… 6 件
- 新庁舎の施設計画に関する意見…………… 0 件
- 新庁舎建設に向けた事業計画に関する意見…………… 5 件
- 庁舎建設に関連するその他の意見…………… 3 件

策定された基本計画とパブリック・コメントの結果の概要は、以下の方法で閲覧可能です。

次の公共施設での閲覧（開館時間中）

- ・ 海田町役場 3 階企画課
- ・ 海田公民館
- ・ 海田東公民館
- ・ 図書館
- ・ ひまわりプラザ
- ・ 福祉センター
- ・ ふるさと館

海田町ホームページでの閲覧

<https://www.town.kaita.lg.jp/>

右のQRコードからも
アクセス可能です。



お問い合わせ

海田町役場企画部企画課

電話（直通）：823-9212

FAX：823-9203

E-mail：kikaku@town.kaita.lg.jp

海田町新庁舎かわら版

第4号

「かわら版第4号」では、3月に策定した「海田町新庁舎整備基本計画」の概要をお知らせします。

また、基本計画の策定にあたり実施した、意見募集（パブリック・コメント）の結果の概要についてご紹介します。

現段階



海田町新庁舎整備基本計画の概要

新庁舎建設に向けた基本的な考え方

- 東広島バイパスに面し、町内4地区からアクセスしやすい立地であること
- 周辺に公共施設や民間施設が充実し、利便性が高いこと
- 想定される浸水リスクに対し、適切に対策を行うこと

これらを踏まえ、旧広島県海田庁舎敷地を、基本計画で建設予定地として位置付けます。

建設予定地	敷地面積
旧広島県海田庁舎敷地（南昭和町14-19）	3,687.80 m ²



町内4地区の特徴と建設予定地

新庁舎の施設整備の方針

1 住民にとって安全・安心な庁舎

浸水・地震対策

- 日常の利便性と浸水被害を考慮し、嵩上げ+止水板併用方式を採用

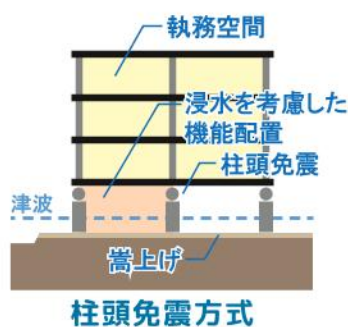


嵩上げ+止水板併用方式

- 免震構造の導入(柱頭免震方式〔部分ピロティ型〕)

災害対応への備え

- 災害対策本部機能や主要な機械室・サーバー室等を上層階へ設置



2 利用者にとって利便性の高い庁舎

案内・窓口・待合機能

- 来庁者に分かりやすい動線となるよう配慮
- 利用頻度が高い窓口機能を低層階に集約し、来庁者の利便性向上を図る

ユニバーサルデザインの推進

- 新庁舎全体について、高齢者や障がい者、子ども連れの来庁者を含む多様な利用者に配慮

見通しの良い
窓口のイメージ



町民利用に応じた断面構成のイメージ

3 効率的な行政運営を促進する庁舎

機能的で働きやすい執務環境



- 4階建ての低層建物とし、各階の面積を大きく確保したオープンフロア

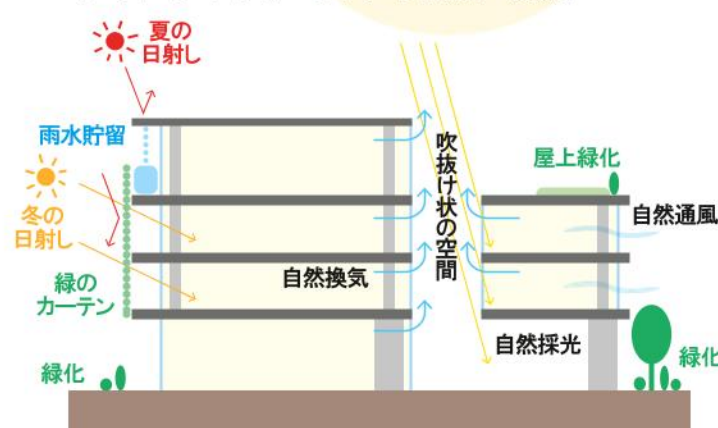
オープンな
フロア構成イメージ

- 各部課間の連携を高め、将来の変化にも柔軟に対応しやすいづくり

- 諸室の集約による庁舎全体のスペース効率化

自然エネルギーを活用した省エネ庁舎

- 海田町の気候に適した自然エネルギー活用と省エネ性能の向上により、環境負荷の軽減、ライフサイクルコストの縮減に配慮



自然エネルギーを活用した省エネ庁舎のイメージ

4 住民参画・協働を促進する庁舎

- 町の様々な情報が集まる「町民交流スペース」の整備
- 新庁舎整備プロセスを積極的に発信



町民交流
スペースの
イメージ

5 町の活性化に資する庁舎

- イベント等に活用できる駐車場や軒下空間
- 街なかの緑とうるおいの創出



6 暮らしやすさを促進する庁舎

- 町内の案内や生活情報の効果的な発信
- 誰もが気軽に訪れやすい雰囲気づくり

7 開かれた議会とその活動を支える庁舎

- 独立性と必要なスペースを確保するとともに、町民に開かれた議会を目指す
- 円滑な議会進行や議員活動に有用なICT化や諸設備が導入できるような設え



新庁舎の施設計画

1 新庁舎の規模

延床面積(室内床面積の合計)

- 基本構想で「+α」として増床を要すると見込んでいた町民利用・交流スペース等の面積については、近年の建設費の高騰等を踏まえ、他の機能との兼用とすることで延床面積に加算しない

駐車場・駐輪場台数

- 駐車場・駐輪場利用実態調査の結果に基づき、駐車場・駐輪場の目標規模を設定

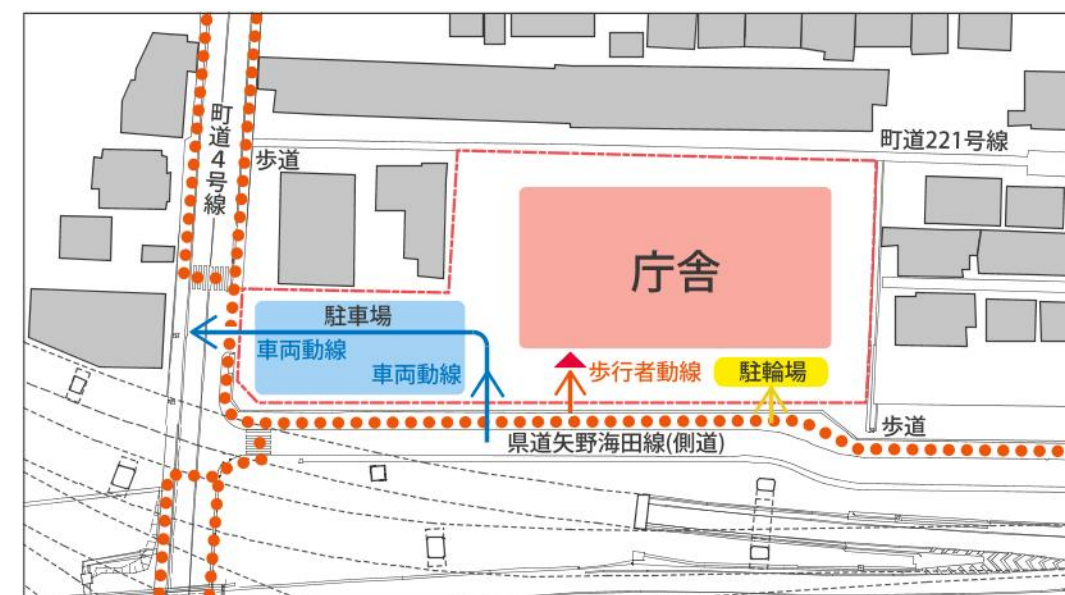
延床面積の目標規模：5,300㎡

駐車場台数の目標規模：57台
(来庁者用38台・公用19台)

駐輪場台数(来庁者用)の目標規模：22台
(自転車16台・バイク6台)

2 配置計画

- 歩行者、車両ともに、それぞれ安全かつ円滑にアクセスできるよう配慮



3 平面計画

- 出入口や縦動線を建物の東西に分けて設け、明快なゾーニングにより、誰もが利用しやすいよう配慮

